

(第1号議案)

平成26年度 島原半島観光連盟事業報告

平成26年度は、長崎県「GAMADASUプロジェクト」後の方針について、島原半島内の関係機関と会議をかさね、今後5年間の取り組みを島原半島観光振興計画をとりまとめました。その途次において、各担当者間の課題や予算の適正執行への意識の共有がはかられたことにより、各関係機関の一体感の醸成につながりました。また様々な観光コンテンツをトータル的に発信する、観光プロモーションや体験型観光及び修学旅行誘致、ジオ・マルシェの開催なども継続して行い、魅力的な島原半島のアピールに努めました。

なお、国立公園「雲仙」指定80周年及び島原半島世界ジオパーク認定5周年のメモリアルイヤーとして、記念式典をはじめとする事業（フォトコンテスト・ツーデーウォーキングなど）も行い、その意義を認識し今後へとつなぐことが出来ました。また、平成28年に予定される世界遺産認定に向けても、ジオパーク誘導看板とあわせ案内板の設置を行いました。

◎島原半島観光振興計画の策定

- ・平成27年度から5年間に向けての指針と目標を定めるとともに、目標達成に向けての、観光施策について、長崎県・島原半島3市・各観光協会・関係事業者等との協力のもと体系的にとりまとめた。

◎戦略プロモーションの展開

○島原半島を広く総合的にPRするにあたって各種プロモーションを実施。

・熊本向けプロモーション

RKK及びFMKを使ったラジオ放送を一年通して行い、熊本県及び周辺地域への島原半島の観光・イベント情報の発信を行った。また、熊本市上通りパルコ前電光掲示板「ワオ・ビジョン」を利用した街頭放送を行い、島原半島の魅力を熊本市民に向け情報発信した。

・福岡（全国）向けプロモーション

九州をはじめ全国を対象とした視聴者や読者向けに各種媒体を使った観光・イベント情報の発信（長崎文化放送・じゃらん・九州ウォーカー・るるぶ・西日本新聞）やJR博多駅前での観光PR展を行った。



- ・県内向けプロモーション

島原市出身の宮崎香蓮をイメージガールとして引き続き起用し、ポスターや印刷物等によるPRを行った。また、地元コミュニティFM「FMしまばら」でのラジオプロモーションを通年で行った。なお、長崎新聞や県内地域観光情報誌への取材協力等も積極的に行い、県内各エリアからの誘客を図った。



- ・観光素材の作成

島原半島の観光素材を集約した総合パンフレット「旅びより」の増刷やクリアファイルの製作を行い宣伝・PRに取り組んだ。

島原半島観光総合パンフレット「旅びより」
 日本語版の増刷 2,000 部
 英語版 10,000 部、繁体字版 10,000 部
 島原半島観光PRクリアファイルの製作
 10,000 枚



◎着地型観光の推進

- ジオツーリズム商品の造成

- ・火山との共生・災害からの復興を学び、島原伝統の和ろうそくづくりを体験するツアーを招聘した。

実施日時：3/10 及び 3/12、参加人員：1,460 名



- JR・島鉄タイアップ

- ・JRウォーキングへの協力と「JR長崎佐賀の旅」への広告を行い島原半島の魅力発信と誘客を行った。

- 体験型観光の推進

- ・季節に応じた体験プログラム特別企画を開催。7プログラム全11回開催。延べ参加人数141名。



◎ジオ・マルシェ開催事業

- 定期的ジオ・マルシェの開催

- ・島原半島内で生産されている「こだわり」商品による自由市場「ジオ・マルシェ」を昨年に引き続き開催した。

開催回数：14 回、延べ出展：481 店舗、

延べ来場者：92,500 名、売上合計：19,300 千円



○特大ジオ・マルシェの開催

- ・長崎県21世紀まちづくり補助金を活用し、年に一度の拡大版「特大ジオ・マルシェ」を開催した。

開催日時：11/29～11/30、出展店舗：116（観光PR含）

来場者：43,000名、売上：8,648千円



○ジオ・net・マルシェ運営

- ・四季を通じた島原半島内の「こだわり」商品を、ジオ・マルシェに来場することなく全国へ宅配するためのシステムの検討を行った。

◎国立公園「雲仙」指定80周年及び島原半島世界ジオパーク認定5周年記念事業

○記念式典の開催

- ・国立公園「雲仙」及び島原半島ジオパークの保護・保全と振興に寄与した功労者を顕彰した。

開催日時：8/23（土）、場所：雲仙メモリアルホール

国立公園「雲仙」指定80周年実行委員長表彰：個人2名

島原半島世界ジオパーク協議会長表彰：団体1、個人1名

環境省九州地方環境事務所長表彰・感謝状：団体3、個人3名

併催イベント：「NHK忍たま乱太郎ショー」来場者約1,000名



○～雲仙岳百景～フォトコンテストの開催

- ・国立公園「雲仙」指定80周年と島原半島ジオパーク認定5周年を記念し、観光活性化につなげるために実施した。

応募作品数：1171作品、月間賞：16作品

その他ノミネート：6作品

「グランプリ賞 雲仙岳冠雪（荒木喜八郎氏）」



◎ジオパーク世界遺産受入整備事業

- ジオパークや世界遺産を歩いて楽める、島原半島独自の仕組みを作り誘客につなげるための看板整備やウォーキングイベントを開催した。

- ・島原半島ジオパーク多国語解説版：3基

設置場所：（雲仙市）国見町正覚寺

（島原市）武家屋敷

（南島原市）布津町大崎海岸



- 島原半島ジオパーク誘導案内板：9基
 設置場所：（雲仙市）尾茂浜海岸、正覚寺2箇所
 （島原市）新焼溶岩、千本木展望所
 われん川
 （南島原市）花房展望所、早崎海岸
 女島



- 世界遺産誘導案内板：3基
 設置場所：（雲仙市）干拓堤防道路取付道路付近
 （雲仙市）小浜バスターミナル建物壁面
 （島原市）島原港



- 島原半島ツデーウォーキング
 実施日：10/4（土）～5（日）
 場 所：島原市、雲仙市、南島原市の3コース及び
 ミステリーコース1
 参加者：138名



◎誘客事業

○修学旅行誘致対策事業

- 島原半島への修学旅行誘致の拡大を目的に島原半島3市各観光協会、ホテル・旅館及び観光関連施設等の関係者で構成する修学旅行誘致部会において大分県（182校）、福岡県（220校）鹿児島県（164校）への誘致活動を実施。また、長崎県観光連盟主催の修学旅行誘致事業（関西、関東、上越）にも同行し誘致を行った。



○インバウンド誘致対策

- アジアからの誘致促進をはかるためのハングル版マップチラシや多国語版路線図等の製作、韓国旅行雑誌への広告や旅行代理店の招聘活動等を行った。



◎広域連携事業

○雲仙天草観光圏整備事業

- ・島原半島地域と天草地域と共同で、インバウンド対策や教育旅行コンサルタントを活用した教育旅行誘致事業等を行い、熊本駅を起終点とした島原半島と天草諸島の周遊観光の確立を図った。

○島原・有明地域観光連携事業

- ・熊本県北部の玉名地域振興局管内の市町と大牟田市、島原半島地域が連携して観光振興を図るため、島原・有明地域観光連携会議に参加し、観光資源のピックアップを行いパンフレットを作成した。

◎体験プログラム受け入れ

- ・修学旅行生を中心に、島原半島での農業体験などプログラムを実施した。
- ・体験プログラム実施数：7, 363人（内修学旅行：4, 609人）

上記事業を実施するため、下記の補助金等を活用した。

○ まるまる島原半島事業（長崎県21世紀まちづくり総合推進事業）

- ・戦略的プロモーションの展開
- ・ジオ・マルシェ開催事業（特大ジオ・マルシェ）を実施。
- ・国立公園「雲仙」指定80周年及び島原半島世界ジオパーク認定5周年記念事業
- ・ジオパーク世界遺産受入整備事業